実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	公益財団法人岩手県スポーツ協会
事業細目名	クラブアドバイザー等配置事業
事業名	岩手県スポーツ協会クラブアドバイザー配置事業
助成金額	4,424,000 円

総合型地域スポーツクラブ活動助成（クラブアドバイザー等配置事業）で公益財団法人岩手県スポーツ協会が行っている「岩手県スポーツ協会クラブアドバイザー配置事業」の実施状況について調査を行いました。

今回の調査では、スポーツ協会事務所にてクラブアドバイザー及び事務担当者に対し、県内の総合型クラブの育成状況についてヒアリングを行いました。創設準備中の２クラブを含め、新たに 3 市町で総合型クラブを創設する予定があり、準備委員会の設置など設立に向けた支援を行っているとのことでした。

岩手県内の総合型クラブの課題として、主に自己財源率の向上と新たなクラブ運営人材の確保が挙げられるそうです。前者について、スポーツ協会としても行政からの指定管理や業務委託などクラブが自主的に収入を確保する取り組みが必要と考えており、新規事業の提案や行政との連携について指導・助言しているそうです。また、後者については、新たな人材を確保するために大学連携の助言や、クラブ運営に参画してくれた人材が適切な運営知識を有するよう資格取得の支援などもしているそうです。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、総合型クラブへの広い知識と経験を有するクラブアドバイザーを安定的に設置でき、岩手県内の総合型クラブへの支援体制の整備と強化を図ることができるようになったそうです。現在、岩手県内で設立されている総合型クラブは５４クラブ、創設を準備しているクラブは２クラブあり、総合型クラブ未設置地域への訪問と合わせて、クラブアドバイザーの派遣・指導を１００回以上予定されているとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

クラブアドバイザー及び中間支援組織に係る業務として、（公財）日本スポーツ協会が運用している「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の活用を促すとともに、申請手続きにおける個別の支援を行っているそうです。また、総合型クラブに関する問合せを東北各県のクラブアドバイザーと連携しながら対応するとともに、そのネットワークで得られた知見を総合型クラブに情報共有していくことで効果的な支援に努めているそうです。さらに、総合型クラブが自立した

運営を行っていくために運営研修会を年二回開催することを予定しているほか、地域課題に則した対応策を検討するため、県内のすべての自治体を１回以上訪問し、意見交換の機会を設けているそうです。

■所感

　クラブアドバイザーが積極的に市町村を訪問していること、また地域の実情に応じた課題を協働的に解決するためにクラブアドバイザー間でも知見を深められていることについて伺えた点が印象的でした。また、岩手県スポーツ協会としても県広域スポーツセンターに専任指導員を配置することで、クラブアドバイザーと共に巡回した際に得たデータ等をより効率的に検証し、クラブ支援に活用している点が際立つ取り組みだと感じました。

　今後もクラブアドバイザーが、岩手県内外の様々な機関や関係者と連携を強く図り、多角的な視点から総合型クラブにアドバイスすることで、地域に密着したクラブの継続的な運営や自立に貢献することを期待しています。

（令和７年 11 月 27 日往査）

（写真）岩手県スポーツ協会事務所内の様子	
	